

## 小規模校で森林教室を実施

八月二六日と二八日、釧路地域の二つの小規模校で森林教室を行いました。

二六日は、<sup>ナカチヤンベツ</sup>標茶町立中茶安別小中学校（生徒数二四名）の小学生十七名、中学生七名を対象に、近くの学校林を活用して森林体験学習を行いました。小学校低学年は、花炭作り体験と樹木の観察を通して木の特徴と名前を学びました。高学年は、子ども樹木博士に挑戦、初めに樹木の特徴と名前を学んだ後、十種類の葉から、樹木の名前を当てるテストをしました。結果は、九種類を正解した生徒もいました。中学生は、歩道のコンパス測量に挑戦、初めて触る測量機器でしたが、設置・操作・測定・作図などを全員が順番に担当し、測量の方法を学びました。測量の成果は、誤差も少なく合格点でした。生徒からは学校林全体の歩道図面を完成させたいとの声も聞かれ、意欲的に取り組む姿に感心しました。



二八日は、<sup>コウチ</sup>厚岸町立高知小学校の全校生徒八名を対象に森林教室を行いました。この日はあいにくの雨のため、事前に学校林から採取した樹木の枝葉を校舎に持ち込み実施しました。低学年は、教室で森林を描いた二枚のパネルから森林の働きを学んだ後、トドマツなど五種類の枝葉をスケッチし、葉の特徴と樹木の名前を学びました。高学年は、十九種類の枝葉を体育館に並べて、葉の特徴や樹名を学びました。学校では、今後、学校林の樹木マップの作成を計画しており、今回学んだ葉の特徴や樹名などを、これからの樹名板作成に活かしていきたいと話していました。

